

## 調査概要

### ● 調査テーマ

高校生の英語学習に関する意識と実態

### ● 調査方法

郵送による自記式質問紙調査

### ● 調査時期

2019年3～4月上旬

### ● 調査対象

全国の高校1年生（971名）

\* 本調査の一部回答者は、小学6年生のときに「小学生の英語学習に関する調査」（2015年3月実施）、中学1年生のときに「中1生の英語学習に関する調査」（2016年3～4月上旬実施）、中学3年生のときに「中3生の英語学習に関する調査」（2018年3～4月上旬実施）にも回答している。

\* 「小6→中1→中3→高1」とすべての調査に回答した有効回収数は372名。Part2については、すべての調査に回答した372名を母体にして分析している。

\* 東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所共同研究「子どもの生活と学び」研究プロジェクトの調査モニター。

### ● 調査項目

\* 授業時間／英語の授業でしていること／英語の授業での活動／授業で英語を話す時間／授業や宿題で英語を話す時間／英語の授業に対する意識／英語の授業での関心・意欲・態度／評価／先生の英語使用割合／授業中の先生の働きかけ／授業の理解度／授業の楽しい・楽しくない／英語の好き・嫌い／英語の得意・苦手／苦手と感じるようになった時期／英語の成績の自己評価／英語のつまずき／勉強時間／授業の予習・復習／学校外学習／自主的に英語に触れること／外国や英語との関わり／英語に関する意識／身につけたい英語力／英語の必要性／将来の英語使用／英語学習観 など

## 調査の枠組み

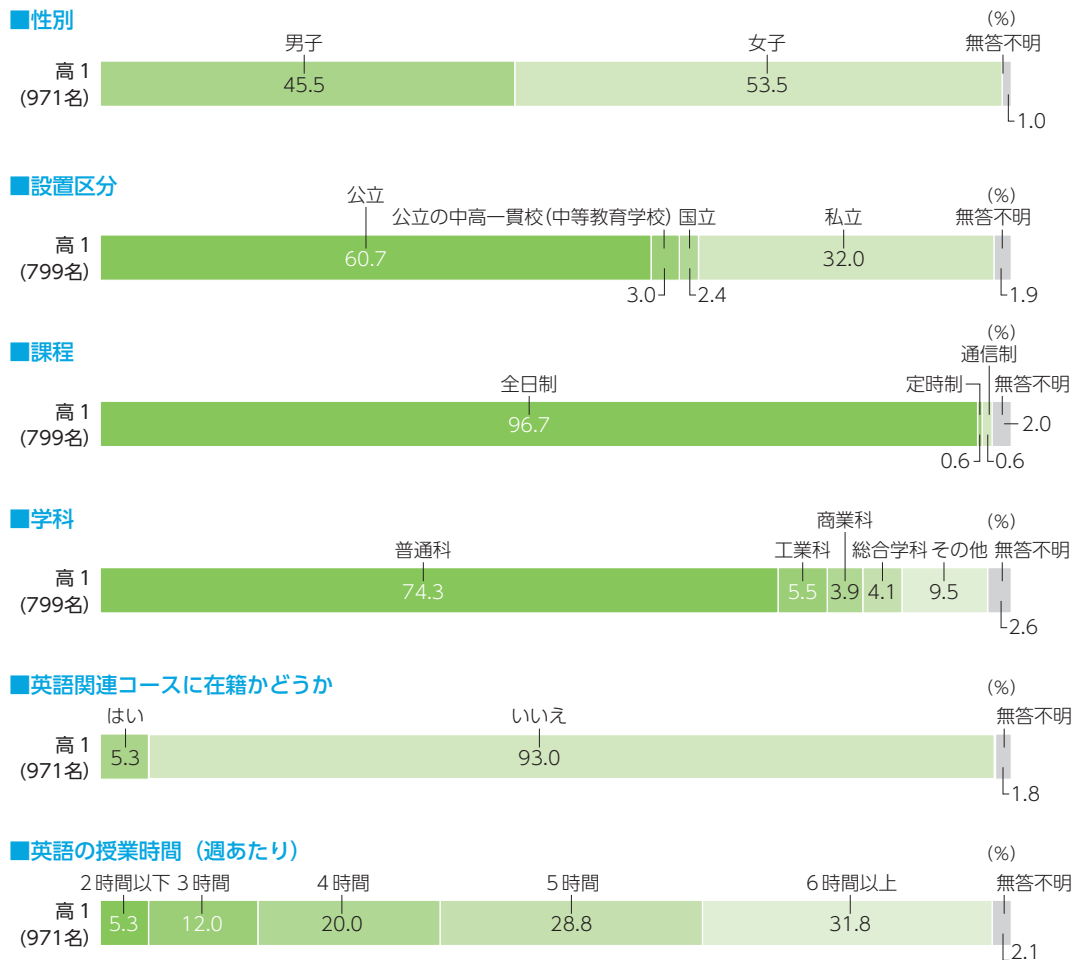


〈過去の調査〉

調査名	調査時期	調査対象	調査方法
小学生の英語学習に関する調査	2015年3月	全国の小学5年生、6年生とその保護者1,565組	郵送による自記式質問紙調査
中1生の英語学習に関する調査	2016年3～4月	全国の中学1年生1,170名	郵送による自記式質問紙調査
中3生の英語学習に関する調査	2018年3～4月	全国の中学3年生1,003名とその保護者1,009名	郵送による自記式質問紙調査

\* 2014年3月に、同様の調査テーマで「中高生の英語学習に関する実態調査」を実施している。対象は全国の中1生～高3生6,294名。調査方法は郵送法による自記式質問紙調査。本ダイジェスト版内(P.5,11)で、参考値として「中高生の英語学習に関する実態調査2014」の高1生の数値を紹介している。調査の詳細については、ベネッセ教育総合研究所のWebサイトを参照されたい。

## 基本属性



\*設置区分、課程、学科については、「子どもの生活と学び」研究プロジェクトの「子どもの生活と学びに関する親子調査2018」の回答者のうち、本調査に回答した人で算出した。

## CONTENTS

調査概要・調査の枠組み	2	1-8 授業の予習・復習	11
基本属性	3	1-9 英語の校外学習	12
Part 1 高1生の英語学習の実態		1-10 英語に関する意識①	13
1-1 英語を話す時間・書く機会	4	1-11 英語に関する意識②	14
1-2 英語の授業でしていること	5	Part 2 小6→中1→中3→高1の変化	
1-3 英語の授業での活動	6	2-1 英語の授業における関心・意欲・態度	15
1-4 先生の英語使用割合と働きかけ	7	2-2 英語の授業に対する意識	16
1-5 先生の働きかけと生徒が英語を話す時間	8	2-3 英語の授業の理解度と好き嫌い	17
1-6 英語の得意・苦手と 苦手を感じるようになった時期	9	2-4 英語に触れる機会	18
1-7 英語学習のつまずき	10	英語ができればやってみいたいこと	19